



「みなべ梅ラーニングコモンズ」地域共創プログラム テーマ名:未来デザイン

課題	みなべ町の未来をよりよく、持続的な、ウェルビーイングなまちにするために、今回モデル事業にも認定された「みなべSDGs未来都市」が何なのか、どんなことをするのか、これによってどんな未来が創造できるのかについて町民の皆さんにわかりやすく伝え、町への愛着と自信を増すことに貢献する活動を行う。そのためにSDGs・未来都市・ウェルビーイングについての理解を未来デザインチームはもちろんのこと実行委員メンバーがまず深めること、ならびにみなべ町の自慢できる素敵なおところと課題をしっかり把握することが必要と考え、“みなべのみらいをみんなで”を現実に実行できるような場作りを行なう。特に“みなべウェルビーイング指標”の開発のリードと徹底が必要。
目標	実行委員がよりone teamになって活動するための機会と刺激とヒントの場を作りたい。今後、多くの町民の方に参加いただく場・イベントの企画と実行、わかりにくい言葉（SDGsやウェルビーイングなど）をわかりやすく説明し、3年後、5年後、10年後の未来図を打ち出して、町民の皆さんならびに町外の皆さんと一緒に“みなべSDGs未来都市”の事業内容を確実に前に進めていく必要がある。どんなことをやっていきたいのか、やっていくのか、やるべきなのかについて未来デザイングループが一番ワクワクしながら、アイデアを制限なく、アクションは選りすぐって、見える結果をリードしていきたい。

令和6年度活動実績	活動内容	成果	関係(連携)団体
	①みなべSDGs未来都市キックオフイベント(2024/10/30)	事前申し込みの方式を取らなかったが、当日来場した参加者は100名を超えていた。イベント終了後の感情の変化に関するアンケートでは、終了後はポジティブ感情が上昇、ネガティブ感情が低下という結果。	一社)PCW
	③ウェルビーイングx有機栽培xみなべセミナー:講師 小原壮太郎氏(2025/1/12)	事前申し込みの方式を取らなかったが、当日来場した参加者は30名程度	

振り返りと今後の展望	町民のみなべ町SDGs未来都市・モデル事業についての周知徹底と理解促進が継続して一番の課題であるため、2年目はより丁寧なコミュニケーションをHP・広報誌・SNS・リアルイベントなどの使えるツールを最大化して課題に取り組む必要があると考えている。 ①みなべSDGs未来都市町民説明会の実施 ②みなべウェルビーイング指標の開発に向けて、以下のアクションを具体的に進めるための戦略Mtgと定例Mtgの実施 ・2025年1月に実施したみなべ町地域幸福度調査結果に基づくリーダー研修(首長・事業リーダー対象) ・調査結果の分析ワークショップ(OASIS)(実行委員会対象・4-10月予定) ・町民ワークショップ実施(6月・7月・9月実施予定) ③みなべSDGs未来都市のプロジェクトの進捗発表会:町民対象 ④ウェルビーイングセミナー:町民対象
------------	--



「みなべ梅ラーニングコモンズ」地域共創プログラム テーマ名:未来デザイン



2024/10/30
みなべSDGs未来都市キックオフイベント
@南部高校体育館



2025/1/12
ウェルビーイング×有機栽培×みなべ
@みなべ町役場

